

あなたと議会

◆題字書きリレー!! 今号は鹿沼南高等学校の星野愛麗さんが揮ごうしました

特集

**市内2地区で
議会報告会を開催しました!**

2023
226号
9月25日発行

市政を問う
7月定例会の結果
各種委員会の活動報告



タイトル:『夢の中から5年ぶりの開催へ』

撮影者: 寄川 勝美 様

撮影場所: 鹿沼市麻苧町



5月に市内2地区で開催しました

市議会では、地域住民の皆さんと直接対話をさせていただくため、各地区で議会報告会・意見交換会を開催しています。

今回は、5月に開催した北部地区と菊沢地区の内容の一部をご紹介します。

～もっと「議会」を身近に～

特集 議会報告会・意見交換会

■人口減少対策・少子化対策について

●鹿沼市都市計画法に基づく開発行為の許可基準に関する条例ができ、市内の4地域を選定して、家が建てられるような取り組みをしていた。自治会としても対応を考えていたが、コロナ禍や物価高もあって、なかなか家も店も新しく建っていない。コロナ禍も改善される中で、また原点に戻ってPRしながらやっていきたい。

●市役所に御成橋の公園の草刈りをお願いしたら、いい返事がもらえなかった。「子どもたちが困っている」と伝えたら対応してもらえたが、年に一度は草刈りをしてほしい。

●高齢者の一人暮らしが増え、孤独死して空き家になっている。空き家が増えており、市も解体費の一部補助している中でさらに地も増えて、街中が活気づいていない。

■自治会について

●地域活動の活性化を図るためには自治会加入率の促進を図っていく必要がある。非会員へのPRなど、自治会だけでは解決できない部分を、行政や議会にも協力してもらいたい。

●防犯灯や自治会館の維持管理などは自治会費で賄っているが、会員が少なくなると支出に耐えられなくなる。一人当たりの負担が増えることになり、その負担を理由に会員も減っていくという悪循環になる。もう切羽詰まっている現状なので、市で検討してほしい。

■福祉・地域交通について

●菊沢地区では、公共交通機関による外出が困難な高齢者にむけて、「きくさわスマイル号」というボランティアの送迎サービスを行っている。地域共助型生活交通なども含め、鹿沼市全体として、高齢者が利用できる移動サービスを作っていくべきではないか。

■道路について

●菊沢地区では環状線が大動脈のようになってくるが、その環状線が途中で止まっている。西側に突き抜けるような形にもらえれば、いろんな面で利用しやすくなる。



■防災について

- 市から届いたハザードマップを確認すると、情報センターの辺りは「浸水想定区域」である。市や県に要望書を提出したが、黒川の洪水の抜本的な対策をしてほしい。

- 近くの川や水路は道路との境が無く、人が転落したこともある。水位が上がると更に境がわからなくなり、車も人も怖くて通れない。

■議会改革について

- 議員削減を求める陳情は1票差で否決されたが、今後も継続して審議してほしい。

■意見交換会の感想

- 市民へのサービス低下が目立つ、何とかしてほしい。(ごみ持ち込みの有料化・ビンの月1回収・リーバスの値上げ・免許返納無料パス廃止・がん検診の一部有料化)

- 近年、議員の活動及び不祥事がマスコミ・議会でも取りざたされることが度々ある。市民の一人としてレベルアップした議会活動を要望する。

- 人口減少対策、自治会加入者の促進、老人会加入者の促進について、議会でも取り上げてほしい。

令和3年度から令和5年度の実績報告

令和元年9月20日から令和5年9月19日の4年間の議員任期においては、まさに「コロナ禍」の影響を受けることとなり、感染拡大の状況や各地区の意向を確認しながら、結果として11地区で開催をすることができました。任期満了に伴い「議会報告会・意見交換会」は一度区切りとなりますので、11地区での開催実績をお知らせいたします。

地区名	実施日	参加者数
加 蘇	令和3年11月 9日	21人
板 荷	11月10日	14人
東大芦	11月12日	17人
西大芦	11月18日	18人
北犬飼	令和4年11月 7日	51人
中 央	11月 8日	42人
粟 野	11月10日	9人
南押原	11月14日	31人
東部台	11月14日	11人
北 部	令和5年 5月 8日	24人
菊 沢	5月19日	21人
合 計	11地区	259人

- 市内全17地区のうち、11地区で開催することができました。
- コロナ禍の影響を受け、会場の広さから人数の調整を行うことになった地区もありました。
- 各地区でいただいた意見やアンケート結果については、開催時期ごとに報告書にまとめ、議会ホームページで公開をしています



(議会ホームページ)

議会報告会・意見交換会の中でいただいた意見・要望は、議員活動に活用するほか、政策調査・研究委員会における資料として活用し、行政施策への反映を求めるために、執行部への提言につなげています。



一般質問の
動画はこちら



鯉原 一男 議員

「農業委員会等に関する法律」「鹿沼市個人情報保護条例」と、地方自治法98条に基づき設置した「農地の時効取得における農地法違反についての農業委員会調査特別委員会」における個人情報の適正な取扱いについて伺う

質問

農業委員会が農地法違反で是正指導した数は、令和元年から4年間で108件である。その内の一つ市長が提供を受けていた個人情報が入り、守秘義務の定めに対する漏洩の疑いが生じた。個人情報の適正な取扱いはできているのか。

答 弁（農業委員会事務局長・総合政策部長）
執行部局から個人情報が入るといふことはあり得ないと考えています。

農業委員会の調査において、新聞報道された当時や弁護士から再調査の要請があった5月にも、漏洩があったという事実は確認できなかったところですが、また、農業委員会事務局が新聞社から受けた取材では事務局から個人情報などは一切出していないので、条例に抵触していません。市の執行機関としては、個人情報の保護については、組織的、技術的、また、物理的にも、その情報の保護に努めています。そうした中で、市長を含め、執行部局から個人情報が入るといふことはあり得ないと考えています。



◆その他の質問事項

○寺・神社等への佐藤信鹿沼市長交際費（公費）の支出について

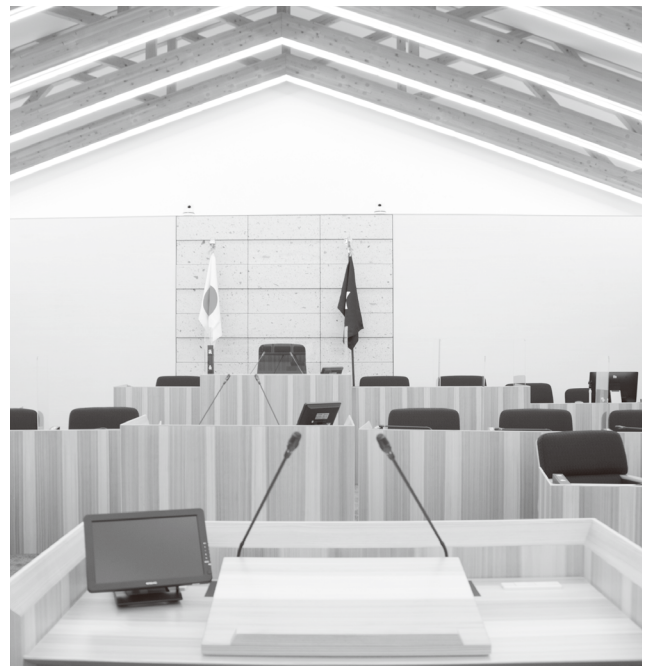
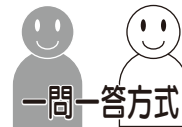
市政を 問う



← 議員紹介はこちらからどうぞ。
各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧ください。

第3回定例会で11人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。

各議員の記事の「質問」の文章は、
議員本人が作成しました。





一般質問の動画はこちら

阿部 秀実 議員



ヤングケアラーの支援体制について伺う

質問

本年度、制定された条例に基づいた支援がスタートしたが、ヤングケアラーとされる子どもの発見と支援について、関係者などでの連絡会議など、継続的な取り組みが必要だと思う。マニュアルも作成することだが、考えを伺う。

答 弁(こども未来部長)

関係機関と連携し、効果的な支援が実施できるよう努めています。

ヤングケアラーの発見及び支援の取り組みについて、条例施行後、こども・家庭サポートセンターでは、既に相談や支援の対応が始まっており、関係機関と連携し、効果的な支援が実施できるよう努

めています。ヤングケアラーへの理解を深めるため、「要保護児童対策ネットワーク会議」や「民生委員児童委員児童福祉部会」において研修を実施したところであり、引き続き関係機関等への研修も行っていきます。学校では日常的に児童生徒の様々な悩み等について把握するよう努めていることから、随時連携しながら、発見・把握していきたいと考えています。また、要保護児童対策ネットワーク会議の個別ケース検討会議を活用し、地域包括支援センターなどを含めた関係機関との連携体制を強化していきます。加えて、現在、本市独自のヤングケアラー支援マニュアルの作成を進めており、そのマニュアルも効果的に活用しながら、継続的に取り組んでいきます。

◆その他の質問事項

- マイナンバーカードに対する市長の考えについて
- 国民健康保険税について
- 地域包括ケアシステムについて
- 防災と危機管理について
- 地域公共交通の拡充について



一般質問の動画はこちら

鈴木 敏雄 議員



学校における食育の充実と学校給食施設の環境整備について伺う

質問

学校給食施設において、近年の暑さの影響で食中毒や熱中症などが懸念されている。鹿沼市内の学校給食施設のエアコン設置状況について伺う。

答 弁(教育次長)

今年度、地区共同調理場である加園小学校及び板荷小学校の実施設計を行い、来年度工事を実施します。

本市の学校給食施設は、鹿沼市学校給食共同調理場を初め11施設あり、そのうちエアコンが設置されている施設は8施設です。未設置の施設は、加園小学校に

ある加蘇地区学校給食共同調理場、板荷小学校にある板荷地区学校給食共同調理場、単独実施校の池ノ森小学校の3施設です。エアコンの設置により、給食施設内の温度や湿度を適切に保つことができること、食中毒の防止や調理員の熱中症対策など、より一層安全安心な給食の提供が期待できると考えています。今後エアコンの設置スケジュールについては、今年度、地区共同調理場である加園小学校及び板荷小学校の実施設計を行い、来年度工事を実施します。また、池ノ森小学校については、今後、エアコンが設置されている地区共同調理場との統合を検討していきます。

◆その他の質問事項

- 子宮頸がんワクチンの接種について
- 鹿沼市のボランティア活動への支援について
- ふるさと納税について





一般質問の
動画はこちら



梶原 隆 議員

自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について伺う

質 問
総合窓口システム導入による「書かない窓口」について、対象となる課や手続き、それらを選択した理由を伺う。また、今後の展開について伺う。

答 弁（市民部長）
課題を整理し、先進事例を参考にしながら、調査検討を継続していきます。
総合窓口システムの導入に当たり、転入や転居などの住所変更や出生届の窓口となる市民課を中心に考え、子育て支援課、健康課、保険年金課、介護保険課など、関係する七つの課にわたりシステム

を導入しました。書かない窓口の対象となる手続は、住民異動届、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、児童手当認定請求書など、約60の届出書や申請書であり、全ての市民の住所や氏名などを、関係課で共有することにより、異なる窓口で手続した際にも、何度も書類に住所や氏名を書かずに済む機能を備えています。今後の展開について、このシステムには、スマートフォンなどで専用のサイトにアクセスし、事前に引越した後の新住所などを入力できる機能があり、これにより実際に窓口に来た際の滞在時間を短くすることができます。システム全般に関する職員の方の操作の習熟度も向上してきたことから、この事前申請の機能を8月から利用開始したいと考えています。



◆その他の質問事項

- 安心して暮らせるまちづくりについて
- 障がい者支援について
- 地方創生SDGsについて



一般質問の
動画はこちら



横尾 武男 議員

市民への安心安全な対策について伺う

質 問
大雨警報時の市民への周知について伺う。また、大規模災害時における被災状況の市民からの問い合わせ先について伺う。

答 弁（危機管理監）
防災情報アプリ、メール、各種SNSなど、多様な方法で周知しています。
大雨警報時の市民への周知については、大雨警報などの気象警報が発表された場合には、テレビに表示されるほか、防災情報アプリ、防災情報メール、鹿沼市LINEなどの各種SNS登録者への自動通知など、多様な方法で周知しています。

特に、防災情報アプリは気象状況を知る上で有効であるため、「広報かぬま」や「鹿沼市防災ハザードマップ」への掲載、出前講座など、様々な機会を捉えて登録を促しています。被災状況の市民からの問い合わせ先については、大規模災害時における被災状況は、鹿沼市災害情報共有システムを活用し、災害対策本部にて集約を行っており、警戒レベル、避難の必要性、避難場所の確認など、市民からの緊急の問い合わせは、原則、災害対策本部で回答します。また、河川の氾濫箇所や通行止めなどは、把握ができた第、ホームページに掲載し、市民の皆様へ情報提供します。



◆その他の質問事項

- 市民生活の支援について
- 使用料、手数料について



一般質問の
動画はこちら

増 淵 靖弘 議員



「全ての施策は人口減少対策」について伺う

質 問
鹿沼市の全ての奨学金制度を示せ。また、奨学金の在り方について、返済不要の給付型奨学金制度を新設する考えは無いか、考えを伺う。

答 弁(教育次長)
他機関の制度や社会情勢等を注視しながら情報収集に努めていきたい。
本市の奨学金制度について、一定の所得基準を満たす世帯で、短大生・専門学校生を含む大学生には、月額4万円、高校生には月額1万5千円を限度に無利子で貸与しています。給付型奨学金制度を新設する考えについて、独立行政法人日本学生支援機構では、世帯収入に応じて

入学金及び授業料減免の他、年額で最大約91万円の奨学金の給付を行っており、また、その他の機関においても、給付型奨学金制度が実施されています。本市は、他機関の奨学金制度との併用を認めており、また、令和2年度からは、人口減少対策のひとつとして、本市奨学金の利用者を対象に、市内定住などの一定要件を満たした場合には、貸与額のうち最大72万円の返還を免除する「市内定住減免制度」を創設しています。現在のところ給付型奨学金制度新設の考えはありませんが、今後も他機関の制度や社会情勢等を注視しながら情報収集に努めていきたいと考えています。



一般質問の
動画はこちら

藤 田 義昭 議員



子どもの自殺者数が過去最高になったことについて伺う

質 問
昨年に自殺した全国の小中高生の児童生徒数が過去最多となりました。その背景や原因について市の見解を伺います。また栃木県及び鹿沼市の状況、市の相談体制について伺います。

答 弁(教育長)
スクールカウンセラーや市の教育相談室を中心に医療等の関係機関とも連携できる体制を整えています。
小中高生の自殺の原因・動機は多い順に、学校問題、健康問題、家庭問題となっています。自殺の多くは、様々な要因が連鎖し「追い込まれた末の死」であるため、学校や保健・医療・福祉等の関係機

関や地域社会との連携を強化し、子ども達に寄り添った支援が必要であると考えています。県や市の状況について、令和4年の19歳以下の自殺者は、栃木県18人、鹿沼市にはいませんでした。市の相談体制は、子ども達と関わる時間の長い学校では、不安や悩みを早期に把握し、相談内容により、スクールカウンセラーや市の教育相談室を中心に医療等の関係機関とも連携できる体制を整えています。また、周囲の気づきや寄り添いを強化し、支援につながる事ができるよう、いのちの電話等の相談窓口一覧の配布やゲートキーパー養成研修も継続して実施していきます。



◆その他の質問事項
○学校再編による廃校施設の利活用について
○第8次総合計画の目指すまちの姿「笑顔あふれるやさしいまち」について



一般質問の
動画はこちら

市田 登 議員



スポーツ振興のための施設整備について伺う

質 問

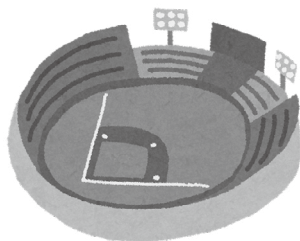
今後、野球場やサンエコ自然の森サッカー場などのスポーツ施設の整備はどのように計画を立てていくのか伺う。

答 弁(教育次長)

整備対象とする球場やその内容について、検討を重ねているところです。

野球場の整備について、市内で硬式野球の試合ができる球場は「ヤオハンいちごパーク野球場」に限られていることから、これまで鹿沼硬式野球連盟を初め、多くの皆様から施設の整備を求める要望をいただいています。また、本年4月には本市のスポーツ振興を目的とした多額

のご寄付をいただき、「野球場の整備、特に硬式野球もできる環境整備に役立っていただきたい」とのご意向をいただいたところですが、硬式野球ができるように整備するためには、整備費用が数億円かかるの見込まれることから、整備対象とする球場やその内容について、検討を重ねているところです。サンエコ自然の森サッカー場については、先日「鹿沼市サッカー協会」より、サッカー場及びフットサル場の、人工芝の全面張替えや照明施設等の改修整備に関する要望書をいただきました。市内外を問わず、キッズからシニアまで利用者が多く、オープンから17年が経過していることから、現在、改修経費や内容等についての調査に着手したところですが。



◆その他の質問事項

- 空き家対策について
- コミュニティセンターの整備について
- 鹿沼市水源地域振興拠点施設条例の制定について
- 健全な財政運営について



一般質問の
動画はこちら

石川 さやか 議員



公営霊園における樹木葬を含む合葬墓の導入について伺う

質 問

埋葬後に永代使用料を支払えば、その後の管理費が必要ない形態の墓地への関心が高まっています。公営霊園における樹木葬を含む合葬墓の導入について、県内他市の状況と、今後本市において導入する考えについて伺います。

答 弁(市民部長)

墓地の承継者の不在などによる無縁墓地の増加などを踏まえ、導入を検討していきたい。

県内他市の現状について、県内で公営の合葬墓を導入している市は宇都宮市、栃木市、小山市の3市であり、このほか

真岡市が令和6年度中の供用開始を目指して整備中と伺っています。使用料は2万5千円から10万円程度で、使用許可時に支払いますが、その後の管理費等は不要となっています。また、埋葬後は遺骨の返還ができないことや、お供え物が生花と線香のみに制限されるなど、それぞれルールが定められています。本市に導入する考えについて、現在、見笹霊園において新規区画を造成中であり、現時点では、希望する市民の皆さまのご要望にお応えすることは可能であると考えていますが、合葬墓についても、墓地の承継者の不在などによる無縁墓地の増加などを踏まえ、導入を検討していきたいと考えています。



◆その他の質問事項

- 特殊詐欺被害対策について
- 交通安全対策について
- 英語教育の充実について



一般質問の動画はこちら

佐藤 誠 議員



職員の通勤手当について伺う

質問

市役所に勤務する職員の鹿沼市内外の居住割合と、一人当たりの通勤手当の平均額の開示を求める。

答 弁(行政経営部長)

職員総数867人のうち、市内在住者が644人で全体の74.3%、市外在住者が223人で全体の25.7%となっています。

職員の通勤手当について、支給の対象は片道の通勤距離が2キロメートル以上の職員であり、公共交通機関の利用者には定期券相当額を、自動車などの通勤者には月額3千円に加え、通勤距離に応じた額を加算して支給しています。現在

の鹿沼市役所に勤務している職員における市内外の居住割合について、職員総数867人のうち、市内在住者が644人で全体の74.3%、市外在住者が223人で全体の25.7%となっています。市内外の通勤者ごとの支給総額・支給人数について、令和4年度においては、通勤手当の支給対象となる職員のうち、市内からの通勤者が497人で支給総額は2千720万6千360円、市外からの通勤者は212人で支給総額は2千229万880円となっています。それぞれの平均額については、市内からの通勤者が1人あたり月額5万4千741円、市外からの通勤者が1人あたり月額10万5千145円となっています。

◆その他の質問事項

○新庁舎の正面駐車場の雨天時の冠水について

○「事務事業評価制度」について

○「住みよさランキング2022」について



一般質問の動画はこちら

大貫 毅 議員



議案第87号 鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について伺う

質問

条例の主な改正内容を伺います。住民の安全、生活環境の保全が条例改正によりどのように確保されるのか伺います。

答 弁(市長)

今回の改正により、市民の安全及び生活環境の保全を図っていき

たい。本条例は、土砂等の埋立てを規制することで土壌の汚染及び災害の発生を防止し、市民生活の安全及び生活環境の保全を図ることを目的とするものです。主な

変更点と期待される効果について、一点目として、県外からの土砂等による埋立て等を禁止することで、本市へ持ち込まれる土砂の総量を減らし、盛土事業の抑制や、安全基準への適合性が未確認な土砂や粗悪な改良土を排除します。二点目として、周辺住民への説明や隣接土地所有者からの同意書の取得を義務化し、周辺住民と隣接土地所有者の意見を反映させた事業計画を作成することとします。三点目として、土砂運搬車両に対する規制を強化し、過積載などの不適切な土砂運搬車両による振動や粉じん、道路破損などの減少を図っていきます。今回の改正により、土壌の汚染や災害の発生を防止し、市民の皆様の安全及び生活環境の保全を図っていきたくと考えています。

◆その他の質問事項

○大芦川の川遊び客対策について

○旧西大芦小学校、旧西大芦コミュニティセンターについて

○良質な公共サービスを支える市役所の人材確保策について

○子どもの貧困対策について



「全員が賛成」以外の議案等における、各議員の賛否は以下のとおりです。
 議員数23名、議長は表決には加わりません。
 賛成：○、反対：●、棄権：－、不参加：不、除斥：除、欠席：欠

令和5年第3回定例会 議員の賛否を公表

番号	件名	採決結果	1 鈴木 紹平	2 橋本 修	3 藤田 義昭	4 梶原 隆	5 宇賀神 敏	7 大貫 桂一	8 石川 さやか	9 鈴木 毅	10 阿部 秀実	11 加藤 美智子	12 市田 登	13 佐藤 誠	14 舘野 裕昭	15 大貫 毅	16 鈴木 敏雄	17 谷中 恵子	18 津久 井健吉	19 小島 実	20 増淵 靖弘	21 横尾 武男	22 関口 正一	23 鍛原 一男	24 大島 久幸
議案 92号	鹿沼市教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員案 8号	鈴木毅議員に対する問責決議について	可決	○	●	○	●	●	○	○	除	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
陳情 4号	G7 男女共同参画・女性活躍担当大臣会合にむけて、ジェンダー平等達成のために女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
陳情 5号	「鹿沼市議会議員の倫理に関する条例」の改正及び逐条解説作成を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
陳情 6号	(一社) こども未来の「赤い羽根共同募金助成事業報告書」の再調査を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
陳情 7号	鹿沼市スクールソーシャルワーカー業務の調査を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

議長

※その他の認定2件、議案29件は全会一致で可決されました。

議案等一覧

認定2件、市長提出議案30件、議員案1件が提出されました。また、陳情4件を審査しました。

令和4年度決算

認定1 令和4年度鹿沼市水道事業会計決算の認定について

決算においては、収益的収支で当年度純利益1億8,780万4,598円でした。

認定2 令和4年度鹿沼市下水道事業会計決算の認定について

決算においては、収益的収支で当年度純利益5億1,706万7,656円でした。

議案76 令和4年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金3億2,585万2,451円のうち、6,000万円を減債積立金に、6,000万円を利益積立金に、6,780万4,598円を建設改良積立金にそれぞれ積み立てるとともに、1億3,804万7,853円を資本金に組み入れるためのものです。

その他

議案77 令和4年度鹿沼市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金5億1,706万7,656円のうち、1億1,291万4,543円を建設改良積立金に積み立てるとともに、4億415万3,113円を資本金に組み入れるためのものです。

令和5年度補正予算

議案78 令和5年度鹿沼市一般会計補正予算(第6号)について

歳入については、国県支出金、繰入金等の増額を計上し、歳出については、市民文化センター施設整備事業費、農業農村整備事業費、小学校管理費、中学校管理費等の増減額を計上したもので、この補正額を2億5,506万9,000円の増とし、予算総額を417億6,325万6,000円とするものです。

議案79 令和5年度鹿沼市水道事業会計補正予算(第1号)について

上下水道部庁舎LED照明機器借上に係る債務負担行為を定めるためのものです。

議案80 損害賠償の額の決定及び和解について

令和2年5月22日鹿沼市役所第3駐車場において、市内在住者が転倒し、負傷したことに対し、損害賠償の額を111万2,127円とし、和解するためのものです。

議案81 損害賠償の額の決定及び和解について

令和4年8月18日戸張町地内の国道と市道との交差点において、職員が運転する軽貨物自動車が、市外在住者所有の普通乗用自動車に衝突し、破損させたことに対し、損害賠償の額を170万7,521円とし、和解するためのものです。

損害賠償及び和解

契約の締結

議案82 工事請負契約の締結について

鹿沼市一般廃棄物最終処分場第2期埋立地整備工事後審査型条件付き一般競争入札を去る5月29日に行い、その結果、神谷・川上特定建設工事共同企業体が4億67万5,000円で落札したので、本契約を締結するためのものです。

議案83 字の廃止及び字の区域の変更について

県営引田地区土地改良事業の施行の結果、土地等の現況に符合しない字の区域が生じたため、事業区域内の字を廃止するとともに、字の区域を変更するためのものです。

議案84 字の区域の変更について

鹿沼インター地区用地造成事業の施行の結果、土地等の現況に符合しない字の区域が生じたため、字の区域を変更するためのものです。

議案85 市道路線の変更について

茂呂地内における開発行為等に伴い、関係する市道の起点及び終点を変更するためのものです。

議案86 鹿沼市印鑑条例の一部改正について

コンビニ交付と同様に、窓口においてもマイナンバーカードの提示による印鑑登録証明書の交付を可能にすることにより、市民の利便性の向上を図るためのものです。

議案87 鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について

県外で発生した土砂等の埋立て等を規制するとともに、事業者に対し、許可申請前における周辺住民への計画内容の周知を義務付けることにより、土壌汚染の防止及び生活環境の保全を図るためのものです。

議案88 鹿沼市水源地域振興拠点施設条例の制定について

南摩ダムの建設による生活環境への影響の緩和を図るとともに、水源地域と下流域の住民相互の交流を促進し、もって水源地域の振興に寄与するため、水源地域振興拠点施設を設置するためのものです。

議案89 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員(候補者) ※敬称略
福田 玲子 (ふくだ れいこ・板荷)

議案90 鹿沼市公平委員会委員の選任について

鹿沼市公平委員会委員 ※敬称略
小野口 利之 (おのぐち としゆき・泉町)

議案91 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員 ※敬称略
大塚 次郎 (おおつか じろう・緑町3丁目)

議案92 鹿沼市教育委員会教育長の任命について

鹿沼市教育委員会教育長
中村 仁 (なかむら ひとし・栄町1丁目)



字の廃止・区域変更

市道

条例の一部改正・制定

人事

議案93～98 鹿沼市粕尾財産区管理会委員の選任について

鹿沼市粕尾財産区管理会委員 ※敬称略
松本 茂司 (まつもと しげじ・下粕尾)
小林 昭 (こばやし あきら・下粕尾)
小杉 一世 (こすぎ かずとし・中粕尾)
倉澤 敏夫 (くらさわ としお・中粕尾)
木村 啓三 (きむら けいぞう・上粕尾)
中嶋 喜久雄 (なかじま きくお・上粕尾)

議案99～104 鹿沼市清洲財産区管理会委員の選任について

鹿沼市清洲財産区管理会委員 ※敬称略
田邊 馨 (たなべ かおる・久野)
田村 博 (たむら ひろし・久野)
和久井 保男 (わくい やすお・深程)
金子 正光 (かねこ まさみつ・深程)
日向野 雅人 (ひがの まさひと・北半田)
神子谷 茂 (みこがい しげる・北半田)

議案105 令和5年度鹿沼市一般会計補正予算(第7号)について

歳入については、国庫支出金の増額を計上し、歳出については、環境都市推進事業費の増額を計上したもので、この補正額を1,800万円の増とし、予算総額を417億8,125万6,000円とするものです。

議員案8 鈴木毅議員に対する問責決議について

提案理由の説明 大貫 毅 議員

農業委員会より、農地法違反の認定を受け、所有権移転登記の抹消を指導された鈴木毅議員の行為について、議会は「農地の時効取得における農地法違反についての農業委員会調査特別委員会」を設置し、農業委員会の決定に誤りが無かったか検査を行いました。その結果、議会は農業委員会の決定に瑕疵がなかったと認定しました。鈴木毅議員は農業委員会の指導に従い、農地の所有権移転登記を抹消し、現時点では農地法違反の状況は解消されております。しかし、農地法違反を行なった行為そのものの責任は問われなければならないと考えます。

陳情4 G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合にむけて、ジェンダー平等達成のために女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情

意見書を提出することを求めるものです。

陳情5 「鹿沼市議会議員の倫理に関する条例」の改正及び逐条解説作成を求める陳情

条例の改正等を求めるものです。

陳情6 (一社)こども未来の「赤い羽根共同募金助成事業報告書」の再調査を求める陳情

議会に対し、市へ再調査を求めることを求めるものです。

陳情7 鹿沼市スクールソーシャルワーカー業務の調査を求める陳情

議会に対し、市へ調査を求めることを求めるものです。

人事

令和5年度補正予算

議員案

陳情

議案等に対する討論等

議員案第8号、陳情第4号において討論等が行われました。
討論等の概要は以下のとおりです。

●議員案8 鈴木毅議員に対する問責決議について

弁 明 鈴木 毅 議員

行政手続きを行う上で、瑕疵や勘違い、錯誤等というものは、必ずつきものです。人間は間違える動物であり、議員であるから「絶対間違えない」というものではありません。これまでの会議で、2回は謝罪や弁明をしています。そこまで説明し謝罪をして、なお、こういった問責を出すという事は、皆さんは何も間違えない人間なのか、と思います。こういった形で何でも、日常生活の中や、議員の行政手続きに関しても議会が口をはさむということは、色々考える事があります。これからは気を引き締めて、今後とも気をつけていきたいと思っています。

反対討論 佐藤 誠 議員

当該議員にも丁寧な手続きをすべきだったという落ち度はあるが、本件は個人の私的な経済行為の手続き上の是正を求めるに過ぎない事案であり、そもそもこの個人情報が入り込める市役所のどこかの部署や要職にある者から漏洩される以外露見することはない。政治的な意図を持って当該議員を貶める意図があると言え、これ以上不必要に罰するかの行為には賛同できない。

●陳情4 G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合にむけて、ジェンダー平等達成のために女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情

賛成討論 阿部 秀実 議員

世界経済フォーラムが発表しているジェンダー・ギャップ指数によると2022年の日本の順位は153カ国中125位と、主要先進国のなかで最下位。政治参加分野の順位では世界ワースト10に入る。こうした動きの中、国連の総会において採択発効した「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」の選択議定書に日本政府は批准をしていない。鹿沼市は、より一歩踏み込んだパートナーシップ宣言を表明しており、多様性を認め合う社会づくりに寄与する都市であるので、議会として国に批准を求める意見書を提出するべきと考える。

決議が可決されました

●議員案8 鈴木毅議員に対する問責決議について

令和5年8月7日の本会議において、次のとおり決議をするための議員案が提出され、可決されました。

鈴木毅議員に対する問責決議

鹿沼市議会基本条例では、その第13条において、議員の政治倫理として、「議員は、市民の代表者として政治倫理を深く自覚し、鹿沼市議会議員の倫理に関する条例を遵守し、品位の保持に努めなければならない。」と規定されている。条例を引用するまでもなく、私たち市議会議員は、法令等を遵守し高い倫理観のもと市民の代表として、その模範とならなければならない立場にある。

しかるに鈴木毅議員にあっては、市内の農地について20年間占有していたとの明確な根拠が無いにもかかわらず、時効取得を理由とする所有権移転登記を行なった。その結果、鹿沼市農業委員会より、農地法違反の認定を受け、所有権移転登記の抹消を指導される事態となった。鈴木毅議員は農業委員会の指導に従い、農地の所有権移転登記を抹消し、現時点においては農地法違反の状況は解消されているが、農地法違反を行なった行為そのものの責任は問われなければならない。まして、鈴木毅議員は土地家屋調査士の資格を保持しており、農地などの土地取引等に関する相当の知識を有しており、その責任はなおさら重いと言わざるを得ない。私たち市議会議員は、市民生活に大きな影響を及ぼす条例の制定・改廃を行なう役割を担っているのであるから、率先して法令遵守しなければならない立場にあるのであり、今回の鈴木毅議員の行為は市議会として見過ごすことは出来ない。

よって、本市議会は、これらの事態の重大さに鑑み、鈴木毅議員の市議会議員としての責任を問うものである。
以上、決議する。

▶用語解説「決議」

議会が行なう事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明するために行なわれる議決のこと。鹿沼市の公益に関するものであれば、幅広い事柄に関して決議することができる。

決議は議会の意思表示であり、法的な拘束力を有するものではない。

常任委員会の調査結果を報告しました。

3つの常任委員会がそれぞれ独自に調査テーマを掲げ、関係機関や市執行部等からの意見聴取、討議研究を重ねてきました。このたび調査結果がまとまったことから、8月7日の本会議において各委員長から議長へ報告するとともに、市執行部へ提出しました。

各常任委員会の調査報告のうち、まとめや提言部分の概要をお知らせいたします。

総務常任委員会

継続調査テーマ：地方における鉄道と自治体の今後のあり方について

- 定時性、速達性という鉄道の利点に注目しながら、駅周辺に複合的な機能性を持たせるなど、鉄道路線に付加価値を持たせる工夫も検討すべき。
- 公共交通全般において、利用客増加のために「乗ってもらうきっかけ」を生み出すことも必要。
- 地域公共交通を維持していくためには、当然、交通事業者と自治体との連携、及び自治体間の連携が前提であり、市民を巻き込んだ議論の場も必要となってくることもある。
- 国による地方鉄道の再構築協議会などの動向を注視していく。
- 宇都宮市LRT開業に伴い、鉄道の通勤客増加も想定されるため、JR日光線の混雑状況の変化や動向を注視していく必要がある。
- 無人自動運転やAIデマンドタクシー等の新技術の活用、バスやタクシー利用拠点の複合施設化、さらに運転手確保などに引き続き取り組んでいく必要がある。

教育福祉常任委員会

継続調査テーマ：小中学校等の適正配置について

- 「教育環境のさらなる整備の充実」
児童生徒にとっての最善な教育環境の整備を図ること。
- 「通学時の安全確保や時間短縮の考慮」
適正配置後、通学時の安全対策やスクールバス等の導入を図ること。
- 「統廃合後の学校施設の利活用の提示」
廃校後に利用されていない学校が多くある。地域活力になる利活用の提示を地域に示すこと。

産業建設常任委員会

継続調査テーマ：スマート農林業の推進について

- 「(仮称)スマート農林業推進条例の制定」
必要な法整備を講じ、経営の安定化による担い手の確保、耕作放棄地の有効活用等による規模拡大及び新規参入を促進する旨を規定すること。
- 「補助金等により農林業従事者へ財政支援」
高額な導入コストは、スマート農林業を推進する上での課題。農林業従事者へ、現在よりも拡充した財政支援を行うこと。
- 「農林業用IoT通信インフラの整備」
スマート農業の普及加速が期待でき、林業における労働安全性を高めるため、「農林業用IoT通信インフラ」を整備すること。

継続調査テーマ：ゼロ・ウェイスト(資源循環型)のまちづくり

- 「『燃やさない・埋めない』といった基本理念を定める」
基本理念を定め、広く市民の力を借り、「分ければ資源・混ぜればごみ」を合言葉に資源化の取り組みを推進すること。
- 「補助金等による財政支援で、生ごみ堆肥化の推進を加速」
家庭での堆肥化を加速させるため、現在よりも拡充した財政支援を行うこと。また、地域の任意団体などが、堆肥化に取り組めるように新規施策として「地域での堆肥化事業」の支援を検討すること。
- 「使用済み紙おむつの再資源化の検討」
新たに「使用済み紙おむつ」を分別回収し、民間企業と協働するなど再資源化(紙おむつリサイクル)する方法を検討すること

政策調査・研究委員会の調査結果をまとめました。

鹿沼市議会では、政策提言や政策立案に努めるため、政策調査・研究委員会を設置しています。

各地区で開催した議会報告会・意見交換会や高校生との意見交換会でいただいた意見などを基に、調査研究結果を報告書にまとめ、市への提言を行ないましたので、その内容をお知らせいたします。

1 中山間地の人口減少問題

「計画づくり」

- 中山間地の未来予想図(人口動態、空き家、地域の状況など)を明らかにし、地域づくりの具体的対策を考えていくべきである。コミュニティセンター単位で、総合計画の「上手に縮む多核連携拠点形成プロジェクト」の具体化を図るべきである。

「移住者の呼び込み」

- 中山間地での小規模な住宅分譲や空き家活用(廃校含む)などにより中山間地域のコミュニティを維持できるような移住政策を考えるべきである。その際、調整区域の線引きや農振地域見直しなどの規制緩和も課題とすべきである。
- 移住者に対するリサーチ(移住の動機、支援策はどうだったか、改善すべき点は、住んでみてどうだったかなど)を行って今後の対策に活かしていくべきである。

「雇用創出」

- 木材業など企業誘致を図り、中山間地での雇用の場を確保すべきである。
- 各地域の農産物など(米、そば、こんにゃく、麻など)のブランド化を図り、雇用創出と地域の魅力度アップを図るべきである。
- 宇都宮鹿沼道路(さつきロード)の完全無料化に取り組むことは、鹿沼インター産業団地の早期完売による安定的な雇用の創出や交通の利便性が得られることで人口減少の抑制や財政基盤の安定が期待できるため、栃木県道路公社と協議を行なうべきである。

2 防災・減災対策

- 自治会や自主防災会と協働して安全な緊急避難場所の確保を図るべきである。
- マイタイムラインの作成など災害を想定した訓練を定期的かつ計画的に行なうべきである。
- 森林の整備は災害抑制効果があることから、例えば東日本台風の際に被害が発生した場所において、災害に強い森林づくりのモデルとなるような事例を作り上げていくべきである。
- 河川内の堆積土等の除去について、近年の頻発化・激甚化する水災害を踏まえ、市民の生命や財産を守るため、河川の適切な機能を維持するため、計画的に行なう必要がある。

3 野生鳥獣問題

- 野生鳥獣対策に効果のある有効なモデルを広める努力を行なうべきである。
- 猟友会との連携を図り、地域を越えた機動的かつ柔軟な被害対策を図れるような体制を構築すべきである。
- ヤマビルの生息域は拡大傾向にあり、山間地域における農林業従事者や観光客などを中心に被害が発生していることから、総合的な防除対策が必要である。

4 農林業の後継者育成

- ニラ、いちごの研修制度はあるが、土地利用型農業(米、麦、大豆など)の新規就農者や後継者育成も必要ではないか。農業公社、生産法人かぬまを農業就業者の受け皿、後継者の育成機関として機能強化していくべきではないか。また、カンントリーエレベーターの機能強化により受託面積の拡大を図るべきである。
- 林業大学校、県立鹿沼南校と連携し林業就業者の拡大を図るべきである。地域おこし協力隊や緑の雇用事業などを活用し、都市部から林業従事者を呼び込む仕組みを考えるべきである。

5 駅前周辺の整備

- 駅前周辺には若者が気軽に立ち寄れるような居場所スペース、学習スペースがなく、駅周辺の賑わいの創出や地域活性化に繋がる施策が必要である。

特別委員会の調査報告

令和5年5月24日に設置された「農地の時効取得における農地法違反についての農業委員会調査特別委員会」について、8月7日の本会議で次のとおり調査結果を報告しました。

調査報告の詳細については議会ホームページをご覧ください。



(議会ホームページ)

調査結果

時効取得を理由とする農地の取得について、農業委員会が農地法違反を認定し、登記抹消を求めた事務手続きにおいて、法令に適合し正確に行なわれ、不適切な処理が行なわれていた事実はなかったとの結論に至った。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に善処を要望することです。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と言います。

請願・陳情は、議会において採択の可否を審査します。ただし、陳情は、その内容等によっては請願に準ずる審査等をしていない場合があります。

請願・陳情に関することは、議会事務局(Tel63-2203)までお問い合わせください。

[請願・陳情の提出要領]

A4判、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

表紙の写真を募集しています!

議会だより「あなたと議会」は、年4回の定例号と新年の特別号、そのほか臨時号を発行し、市民配布や議会ホームページで公開をしています。皆様により親しんでもらえる議会だよりを目指し、表紙を飾る写真を市民の皆様から募集しています。

募集要項

テーマ：鹿沼市の風景や行事・イベントなど

応募先：鹿沼市議会事務局

応募方法：応募用紙に必要事項を記入し、データ写真の場合は電子メール又は直接持参、プリント写真の場合は郵送又は直接持参のいずれかの方法でご提出ください。

※「応募用紙」や「応募期限」については、議会ホームページからご確認ください。



(議会ホームページ)

募集要項

- ・応募者自身に著作権のある未発表のもの、また被写体が人物や個人の所有物の場合は承諾を得たものに限ります。応募作品に関する著作権、肖像権等の問題が発生した場合は、その責任及び解決はすべて応募者に帰属するものとします。
- ・応募作品は、無償で鹿沼市議会が使用することに許諾したものとします。また、必要によりトリミング処理等を行うことや、複数作品を同時に掲載する場合があります。
- ・その他注意事項は、議会ホームページや応募用紙をご確認ください。



議会からの **お知らせ**

全国市議会議長会から表彰を受けました!

市政発展に貢献した長年の功績により、本市の2名の議員が全国市議会議長会から永年勤続表彰を受けました。



津久井 健吉 議員
議員15年以上表彰



谷中 恵子 議員
議員15年以上表彰



定例会の日程

令和5年第4回定例会(予定)

月	日	曜	内容
11	14	火	議会運営委員会
	21	火	本会議(第1日) 提出議案の説明
12	6	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	7	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
	8	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	12	火	総務常任委員会
	13	水	教育福祉常任委員会
	14	木	産業建設常任委員会
	18	月	決算特別委員会
19	火	決算特別委員会	
21	木	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決	

令和6年第1回定例会(予定)

月	日	曜	内容
2	13	火	議会運営委員会
	20	火	本会議(第1日) 提出議案の説明
3	6	水	議会運営委員会 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問
	7	木	本会議(第3日) 議案質疑・一般質問
	8	金	本会議(第4日) 議案質疑・一般質問 議案等の委員会付託
	12	火	総務常任委員会
	13	水	教育福祉常任委員会
14	木	産業建設常任委員会	
18	月	議会運営委員会 本会議(第5日) 採決	

題字の揮ごうについて

今号は、鹿沼南高等学校2年生の星野愛麗さんに揮ごうして頂きました。



1つ1ついいねいに自分らしく書くことができました。

表紙写真の募集について

「あなたと議会」の表紙に掲載する写真を募集しています。詳しくは、15ページのお知らせが議会ホームページをご覧ください。



※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。どうか、または議会事務局までお問い合わせください。(電話 63-2203)